

互いの考えのよさを認め合い、よりよい話し合いができる児童の育成

—意見の比較をしやすい黒板掲示の工夫を通して—

特別活動班 氏名 高井 裕一 (小学校教諭)

課題

自分と異なる考えを受け入れられず折り合いを付けることができない。

低～中学年では、児童中心の話し合いの経験が少ない。

友達の考えのよさを受け入れ、お互いを認め合える児童を育てたい！

自分の考えを発表できない児童が多い。

教師の思い

児童が中心となって話し合い活動ができる学級を作りたい！

自分の考えを持ち進んで発表できる児童を育てたい！

手だて

計画委員を中心とした話し合い活動を実践する。

それぞれの考えのよさが分かりやすい黒板掲示を工夫する。

話し合いシートに考えを書いたうえで話し合いに臨む。

実践の様子

計画委員を中心とした話し合い



司会は難しかったけどがんばってできた！
自分の番のときは黒板書記をしてみたいな！

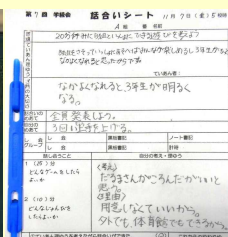
黒板掲示を工夫したよさの可視化



色マークで考えのよさがわかりやすかったよ！
それぞれのよさもくらべやすかったよ！

話し合いシートによる

話し合いの活性化



←話し合いシート



自分の考えを発表できた！
友達の考えや理由も興味を持って聞けたよ！

成果

○計画委員中心の話し合い → 学級活動の活性化・主体性の向上

○話し合いシートの活用 → 積極的な発言・よりよい話し合いに向けての効果的な準備

○黒板掲示の工夫 → 色マークによる可視化・主体的な意思決定

提言

小学3年生にできる、よさに目を向けた意見の比較検討や集団決定のために

○色マークを有効に使い、考えのよさや意見の比較がしやすい黒板掲示を工夫しましょう。

○事前に議題を知らせ、話し合いシートに考えや理由を記入させておくことで発言を活性化させ、考えを十分に出し合わせるようにしましょう。

○話し合いシートの意見を事前に把握し、話し合いの進め方や黒板掲示の仕方に生かしましょう。